

富士見工場ソーラー発電所

この度、2024年3月に当社富士見工場（千葉県山武市）に太陽光発電設備を設置し発電を開始しました。下村グループにおいて、同市内の松尾工場（2015年発電開始）、海外中国拠点のSTSS（2021年発電開始）に続き、3基目の発電設備となります。

当該発電設備は、ストレージパリティの観点から蓄電池を新たに設置し、ピークカットおよび休日の待機電力の削減に向けて活用することで、SDGs活動の観点から地球環境保全に配慮した事業展開、循環型経済社会の実現に貢献して参ります。

また近年全国で発生している災害に備えレジリエンス強化も合わせて行ない、社内の防災対策強化並びに地域における災害時の一助となれるよう必要最小限の電力供給などにも有効に活用して参ります。

(1) 富士見工場太陽光発電設備の仕様 … 自家消費型 発電能力：142.8kW

①太陽電池モジュール…写真a

- ・Trina Solar製：TSM-DE18M(Ⅱ) 510W/枚
- ・設置枚数：280枚
- ・年間発電量(予測)：148MWH/年
- ・CO2削減量(見込)：59 t-CO₂削減/年

②蓄電池

- ・SUNGROW製：蓄電性能 159kWh



写真a.パネル設置状況

(2) 災害時の緊急対応として活用

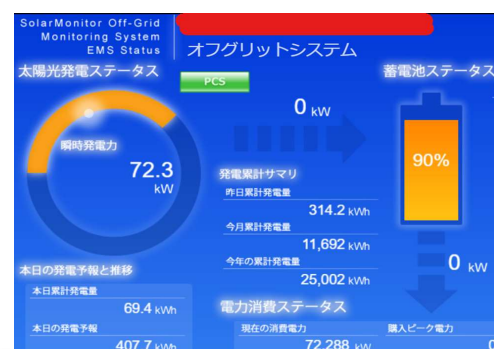
①災害時充電ステーション設置…写真b

②緊急避難所の設置

- ・富士見工場駐車場および食堂を緊急避難場所として提供する



写真b-1.充電ステーションおよび災害時駐車場レイアウト

写真b-2.災害時充電ステーション
看板設置イメージ

<参考> 発電・蓄電実績画面

<参考>

松尾工場太陽光発電設備の仕様と稼働状況(2015年発電開始)…写真c

(1)仕様

- ・発電能力：466kW
- ・年間発電量：573MWH/年

(2) 地球環境保全への貢献状況

CO2削減量…2,400 t (300 t-CO₂削減/年…8年)



写真c.松尾工場太陽光発電